

氏名	渡邊 千登世	部署	看護学科	職名	教授
研究分野	看護管理学				
学位	博士（看護学）				
学歴	1986年聖路加看護大学看護学科卒業 1996年聖路加看護大学大学院 博士前期課程修了 2017年聖路加国際大学大学院博士後期課程修了 その他 1990年聖路加国際病院ETスクールクリープランド クリニック分校修了（現皮膚排泄ケア認定看護師）				
経歴	1986年-1994年,1996年-2007年聖路加国際病院 2007年-2011年さいたま市立病院副院長・看護部長 2011年-2013年 北野病院看護部長 2017年-2018年東京大学大学院 工学系研究科化学システム専攻 品質・医療社会システム工学寄付講座特任研究員 2018年-2024年神奈川県立保健福祉大学 保健福祉学部 看護学科准教授 2024年－現職				
所属学会（役職）	日本看護管理学会（評議員）日本創傷・オストミー・失禁管理学会（理事長）・日本看護科学学会（代議員）日本褥瘡学会（評議員）日本臨床知識学会（評議員）				

【2025年度実績】

1. 研究業績							
(1) 著作(著書及びその他の著作物)							
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月	
1	該当なし						
(2) 論文							
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	発達障害およびその傾向をもつ新人看護師の業務遂行上の困難	共著	あり		日本看護学教育学会誌、35（1）、P91-102	谷津めぐみ, 宮芝 智子, <u>渡邊 千登世</u>	2025.7
2	Empirical Study on Reducing Overtime Work by Nurses Through the Application of Process Paths to All Inpatients.	共著	あり		Studies in health technology and informatics、329、P188-195	Tsuru, Satoko;Tamamoto, Tetsuro;Nakao, Akihiro;Tanizaki, Koichi; <u>Watanabe, Chitose</u> ;Ishitobi, Etsuko;Sasaki, Seiko;Maehara, Yoko;Yuno, Chikako;Jutori, Yoriko	2025.8
3	看護専門学校に所属する看護教員のレジリエンスを構成する要素 教育経験6年未満に焦点を当てて	共著	あり		日本看護学教育学会誌、35（2）、P55-66	天下井 深雪, 宮芝 智子, <u>渡邊 千登世</u>	2025.11
(3) 学会発表							
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月		
1	DXが拓く医師から看護師へのタスクシフトの未来～褥瘡マネジメントシステム～	共同	第34回日本創傷・オストミー・失禁管理学会学術集会、山形	口演 ○ <u>渡邊千登世</u> 、山名瑛己子	2025.6		
2	医師から看護師へのタスクシフトの実現～褥瘡管理システムを活用したWOCN、特定看護師の実践～	共同	第34回日本創傷・オストミー・失禁管理学会学術集会、山形	口演 ○山名映己子、 <u>渡邊千登世</u>	2025.6		
3	理事会企画2：WOCナースが使える診療報酬 WOCナースの活動が診療報酬に繋がるしくみ ― 診療報酬制度の基本的知識 ―	単独	第34回日本創傷・オストミー・失禁管理学会学術集会、山形	講演 ○ <u>渡邊千登世</u>	2025.6		

4	インフォメーション・エキスチェンジ 20 “Tsuru先生と愉快的仲間たちの挑戦”	共同	第29回日本看護管理学会、 札幌	司会 企画：水流聡子 司会・進行：渡邊千登世、井上真奈美 話題提供：磯雅子、湯野智香子、駒田香苗、石飛悦子、高木美由紀、十鳥依利子、前原陽子	2025.8
5	Empirical Study on Reducing Overtime Work by Nurses Through the Application of Process Paths to All Inpatients	共同	20th World Congress on Medical and Health Informatics (MEDINFO), Taipei, Taiwan.	口演 ○Satoko TSURU, Tetsuro TAMAMOTO, Akihiro NAKAO, Koichi TANIZAKI, Chitose WATANABE, Etsuko ISHITOBI, Seiko SASAKI, Yoko MAEHARA, Chikako YUNO, Yoriko JUTORI	2025.8
6	看護チームの心理的安全性を醸成する師長の行動 急性期病院の病棟看護師の認識	共同	第45回日本看護科学学会、新潟	口演 ○鈴木菜穂、宮芝智子、渡邊恵、渡邊千登世	2025.12
7	看護師長が認識するプラトー現象にある中堅看護師の看護実践能力を高めた支援	共同	第45回日本看護科学学会、新潟	口演 ○前田祐子、宮芝智子、渡邊恵、渡邊千登世	2025.12
(4) その他					
	名称	単・共	発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	一般演題 口演12 第4会場 その他 1	共著	第29回日本看護管理学会、札幌	座長：渡邊千登世	2025.8
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称	研究名		研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費基金（基盤研究C／24113626：基24K13626）	「病院と地域を横断して働く新人看護師の教育プログラム」の導入と評価		研究代表者	2024.4～2027.3
3. 教育業績					
(1) 講義					
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	看護管理	○	8	4年生対象：質の高い看護サービスを提供するために看護管理の基本的な概念について教授した。グループワークを活用し、活発な意見交換と主体的学びを支援した。	
2	（大学院）看護管理システム論	○	16	大学院博士前期課程対象：看護管理の基本となる諸理論やマネジメントプロセスを基盤に、実践での活用について議論した。受講生には組織分析の方法やプレゼンテーション方法を指導した。	
(2) 演習					
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	看護方法Ⅰ		16	1年生対象：バイタルサイン等、看護の基本技術の習得を目的とした講義・演習。科目責任者と協力し、運営、演習指導に参画した。	
2	看護方法Ⅱ		16	2年生対象：移動等、日常生活援助の知識と技術習得を目的とした講義・演習。科目責任者と協力し、運営、演習指導に参画した。	
3	看護方法Ⅲ		16	2年生対象：清潔の保持等、日常生活援助の知識と技術習得を目的とした講義・演習。科目責任者と協力し運営、演習指導に参画した。	
4	看護方法Ⅳ		16	2年生対象：診断・治療に関する援助の知識と技術習得を目的とした講義・演習。科目責任者と協力し、運営、演習指導に参画した。	
5	看護方法Ⅴ	○	16	2年生対象：対象の状態に応じた看護実践のための総合力を養う、講義・演習であり、科目責任者として担当教員と協力し、運営演習指導を行った。	

6	看護過程論		16	1年生対象：看護過程の展開に関する講義、演習。グループワークなど科目責任者と協力し、運営、演習指導に参画した。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	基礎看護学実習Ⅱ		2025.10	2年生対象：看護過程の展開を行う初めての实習である。学生が主体的に対象に適した看護実践が行えるよう、思考と看護援助の実施を支援した。
2	ヒューマンケア体験実習	○	2025.9	1年生対象：ヒューマンサービスの学習を統合するための、初めての实習である。科目責任者と4チームの統括と担当教員とともに、学生が充実した実習が行えるように支援した。
3	基礎看護学実習Ⅰ		2026.2	1年生対象：学生初めての臨地実習である。施設の実習指導者や管理者と実習環境を調整し、学生の状況を見守りながら指導を行った。学生の自立を促すよう、グループワークやカンファレンスを通して関わり、実習目標到達できるよう指導した。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2025.4-2025.12	主指導 4名	副指導 名
2	修士論文	2025.4-2026.3	主指導（指導教員） 名	副指導（指導補助教員） 2名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	埼玉県立大学 2025年度2年次生 キャリアデザイン講座	2025.4	自分の強みと課題を自覚できるよう、「社会人基礎力向上のための取り組み」について講義した。	
2	埼玉県立大学 2025年度3年次生 キャリアデザイン講座	2025.4	看護師のキャリア開発とキャリアアンカーについて今後のキャリアデザインが考えられるように講義した。	
3	埼玉県立大学 2025年度1年次生 キャリアデザイン講座	2025.11	看護師のキャリア開発の多種多様であること、将来のなりたい自分の実現に向けて、今後の人間的な成長につながる「気づき」を得る様に具体的な講義を心がけた。	
4	埼玉県立大学 2025年度2年次生 キャリアデザイン講座	2026.2	キャリア・アンカーを振り返り、自己の価値観を再認識し、学年間交流を通して3年次以降の学習や学生生活、進路選択の情報を得て、自らの進路（キャリアデザイン）を考えられるよう講義した	
5	公立大学法人 神奈川県立保健福祉大学 実践教育センター	2025.5	認定看護管理者セカンドレベル 資源管理Ⅱ看護管理における情報管理	
6	公立大学法人 神奈川県立保健福祉大学 実践教育センター	2025.6	認定看護管理者セカンドレベル 組織管理Ⅱ組織変革	
7	静岡県看護協会	2025.6、9	認定看護管理者ファーストレベル 資源管理Ⅰ看護実践における情報管理	
8	公立大学法人 神奈川県立保健福祉大学 （大学院）非常勤講師	2025.6	コンサルテーション論の基本概念について教授した。ロールプレイなどグループワークを行った。	
9	石川県看護協会	2025.7	認定看護管理者セカンドレベル 資源管理Ⅱ看護管理における情報管理	
10	湘南鎌倉医療大学 看護学科 非常勤講師	2025.8	「看護管理学」質の高い看護サービスを提供するために看護管理の基本的な概念について教授した。グループワーク等で討議を行った。	
11	石川県立大学 キャリア支援センター	2025.8	皮膚・排泄ケア認定看護師 教育課程 精神面のアセスメントとケア 「オストメイトのセクシュアリティ」	
12	京都橘大学 看護教育研修センター	2025.8	皮膚・排泄ケア認定看護師 教育課程 精神面のアセスメントとケア 「オストメイトのセクシュアリティ」	

13	日本看護協会 看護研修センター	2025.9	皮膚・排泄ケア認定看護師 教育課程 精神面のアセスメントとケア 「オストメイトのセクシュアリティ」	
14	公立大学法人 神奈川県立保健福祉大学 実践教育センター	2025.10	認定看護管理者ファーストレベル 質管理Ⅰ看護サービスの基礎	
15	公立大学法人 神奈川県立保健福祉大学 実践教育センター	2025.11	認定看護管理者ファーストレベル 資源管理Ⅰ看護実践における情報管理	
16	鳥取県看護協会	2025.11	認定看護管理者セカンドレベル 資源管理Ⅱ看護管理における情報管理	
17	山形県看護協会	2025.11	認定看護管理者セカンドレベル 資源管理Ⅱ看護管理における情報管理	
18	国立大学法人 山梨大学（大学院） 非常勤講師	2025.12	看護管理学「情報管理と看護サービスの質保証」 修士の受講生が実践で活用できるように気づきを促すよう討論を行った。	
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	2025年度 越谷市立病院 臨床指導者研修会	越谷市立病院看護部	Z世代の支援・対応方法と臨床指導者の役割	2025.7
2	2025年度 岡山県看護協会研修（看護実践の基盤）	岡山県看護協会	看護記録の実際	2025.8
3	2025年度 大阪府看護協会研修	大阪府看護協会	看護記録のあり方を学ぶ	2026.1
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称		委員等の名称	任期
1	日本・創傷・オストミー失禁管理学会		社会保険委員・将来構想委員会	2024.5-2026.5
2	日本看護科学学会		看護ケア開発・標準化委員会	2024.12-2026.11
3	日本看護管理学会		看護の適正評価に関する検討委員会	2023.4-2027.3
4	一般財団法人 医療情報開発センター		看護領域の標準化委員会 看護実践用語標準マスター仕様管理作業班	2024.4-2026.3
5	埼玉県総合医局機構		看護職員確保委員会	2024.4-2026.3
6	一般社団法人 日本医療安全調査機構 医療事故調査・支援センター		個別調査部会 部会員	2025.11-2026.3
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称			内容 年月
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	学生支援	担任業務（2年次担任および担任長）・学生支援委員会		2025.4-2026.3
2	学科等における委員会等	埼玉県病院機構連絡会議		2025.4-2026.3
3	学生支援	キャリアデザイン講座担当		2025.4-2026.3
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）				
	受賞名		主催	受賞年月
1	会長賞（共同演者）医師から看護師へのタスクシフトの実現～褥瘡管理システムを活用したWOCN、特定看護師の実践～		第34回日本創傷・オストミー・失禁管理学会学術集会、山形	2025.6

7. 特許の取得		
	特許名	特許番号 登録年月
1	該当なし	
8. 特記事項		
1	該当なし	